

観察した鳥類チェックリスト

- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| ★キジ目 | ★ツル目 | ★ハヤブサ目 | □ ツグミ |
| ・キジ科 | □ クイナ | ・ハヤブサ科 | □ ジョウビタキ |
| □ キジ | □ バン | □ チョウゲンボウ | ・スズメ科 |
| ★カモ目 | □ オオバン | □ ハヤブサ | □ スズメ |
| ・カモ科 | ★チドリ目 | ★スズメ目 | ・セキレイ科 |
| □ コブハクチョウ | ・チドリ科 | ・モズ科 | □ キセキレイ |
| □ オカヨシガモ | □ タゲリ | □ モズ | □ ハクセキレイ |
| □ ヨシガモ | □ ムナグロ | ・カラス科 | □ セグロセキレイ |
| □ ヒドリガモ | □ コチドリ | □ カケス | □ タヒバリ |
| □ マガモ | ・セイタカシギ科 | □ オナガ | ・アトリ科 |
| □ カルガモ | □ セイタカシギ | □ ハシボソガラス | □ カワラヒワ |
| □ ハシビロガモ | ・シギ科 | □ ハシブトガラス | □ アトリ |
| □ オナガガモ | □ タシギ | ・シジュウカラ科 | □ ウソ |
| □ コガモ | □ イソシギ | □ ヤマガラ | □ シメ |
| □ ホシハジロ | ・タマシギ科 | □ シジュウカラ | □ コイカル |
| □ キンクロハジロ | □ タマシギ | ・ヒバリ科 | ・ホオジロ科 |
| □ ミコアイサ | ・カモメ科 | □ ヒバリ | □ ホオジロ |
| ★カイツブリ目 | □ ユリカモメ | ツバメ科 | □ カシラダカ |
| ・カイツブリ科 | □ セグロカモメ | □ ツバメ | □ アオジ |
| □ カイツブリ | □ オオセグロカモメ | ・ヒヨドリ科 | □ オオジュリン |
| □ カンムリカイツブリ | ★タカ目 | □ ヒヨドリ | □ |
| □ ミミカイツブリ | ・ミサゴ科 | ・ウグイス科 | □ |
| □ ハジロカイツブリ | □ ミサゴ | □ ウグイス | □ |
| ★ハト目 | ・タカ科 | ・エナガ科 | □ |
| ・ハト科 | □ トビ | □ エナガ | □ |
| □ キジバト | □ チュウヒ | ・メジロ科 | □ |
| ★カツオドリ目 | □ ツミ | □ メジロ | (外来種や家禽) |
| □ カワウ | □ ハイタカ | ・ヨシキリ科 | □ バリケン |
| ★ペリカン目 | □ オオタカ | □ オオヨシキリ | □ ガチョウ |
| ・サギ科 | □ ノスリ | ・セッカ科 | □ アヒル |
| □ ヨシゴイ | ★ブッポウソウ目 | □ セッカ | □ ドバト |
| □ ゴイサギ | ・カワセミ科 | ・ムクドリ科 | |
| □ アマサギ | □ カワセミ | □ ムクドリ | |
| □ アオサギ | ★キツツキ目 | ・ヒタキ科 | |
| □ ダイサギ | ・キツツキ科 | □ シロハラ | |
| □ チュウサギ | □ コゲラ | □ アカハラ | |
| □ コサギ | | | |

【12月のテーマ】 もっと知りたいカワウ

案内人：小田谷嘉弥（鳥の博物館学芸員）
・伴野茂樹（鳥の博物館市民スタッフ）



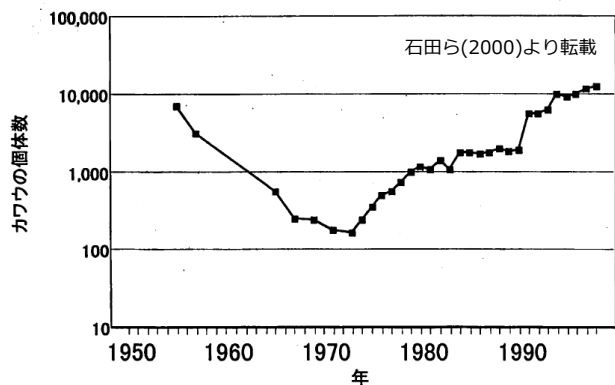
▲手賀沼で魚を集団で追い込むカワウの群れ。

カワウは全身が黒い羽毛に覆われた大型の水鳥で、手賀沼では1年中見ることが出来ます。あまり注目されることのないカワウですが、冬から春にかけて繁殖することや、非常に優れた水中のハンターであることなど、興味深い点がたくさんあります。今回は、カワウのいろいろな特徴を深掘りしてみましよう。

2023年12月9日（土）

カワウの個体数の変化

現在では手賀沼でふつうに見られるカワウですが、1970年代には国内で繁殖地が1か所だけになるなど、絶滅の危機にありました。個体数の回復とともに、漁業や人の暮らしとの軋轢が生まれてしまっています。



▲関東地方のカワウの個体数の変化。1960-70年ごろに減った個体数が近年になって回復したことがわかります。

年間の合計個体数(羽)



▲手賀沼のカワウの1977年から2020年までの個体数の変化。1990年頃から増え始め、2000年代からは安定しています。

カワウはすごい水中のハンター

カワウは、水鳥の中でも魚を捕るのが非常にうまいことが知られています。あまり知られていないその能力の高さの秘密をご紹介します。



カワウは4本のゆびの間に3枚のみずかきを持つ

脚のみずかき

カワウは、翼を使わず、脚だけを使って潜水します。最大深度は37m、最長で1分10秒程度潜水することができます。潜水のスピードは1.6m/秒で、最大速度は4.7m/秒にも達し、逃げる魚にも追いつくことができます。



カワウの背の羽毛。各羽のふちの部分が水になじむ

水によくなじむ羽毛

他の多くの水鳥と異なり、ウの仲間の羽毛は、水をはじかない構造になっています。このため、ウの体は水によくなじみ、浮力や抵抗が小さいため、上記のようなスピードで水中を移動できるのです。